「JICA食と農の協働プラットフォーム(JiPFA)」

2023年3月16日 16:00~

カンボジア カシューナッツ事業

されがカシューナッツになります。

カシューの実

トッププランニングJAPAN経営企画室 今橋

1. 海外展開の背景・動機

組織

TPJ



組織名:株式会社 トッププランニング

JAPAN

設立:1990年 **所在**:東京都

資本金:9,700万

事業内容:建設業、環境事業、海外事業

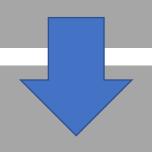
海外事業(カンボジア)

ミネラルウォーター製造・販売事業 - YAKUMO F&B CO., LTD.に出資

カシューナッツ加工・販売事業

- -現地法人TPJC. CO., LTD. を設立
- 加工工場を新設し、販売開始

ミネラル ウォーター 事業



カシュー ナッツ 事業

- ・2013年よりYAKUMO社 に事業投資し、 飲料水事業を拡充。カンボジア国唯一 の日本のミネラルウォーターブランド を展開
- ・ブランド名Water Oとして、年間650 万本生産
- ・ハチミツの生産、販売など食品加工事 業への事業展開
- ・HACCP取得に際する衛生・品質管理 教育及びマニュアルの整備等で支援を 行っている。





- ・2018年ごろ、バイオマス発電所事業調査の一環で、パーム油の現地調査を行う。当時後発であったと事、パーム油の先々の展望を考慮し、 新燃料たる可能性を秘めたカシューナッツ殻油に注目
- ・カシュー生産地であるベトナム、カンボジアの調査を開始
- ・カンボジアにはカシュー加工工場が少なく、産業開発のため、 カシューナッツ加工モデルとバリューチェーン構築のための 案件化調査をJICAに申請し、採択、2019年より調査実施
- ・2020年2月に現地法人TPJC CO.,LTD.を設立し、現地女性起業家ライホウ氏が運営するカシューナッツ工場と事業提携し、工場運営、商品開発のノウハウを移転開始。
- ・2021年12月新設工場完成し、本格稼働中。

2. カンボジアーベトナムー世界市場へのバリューチェーンの現状

原材料



ほぼ全量密輸出

加工/ベトナム南部

小規模一次加工事業者



国際規格などなく、品質、衛生管理などはさほど問われない。

国際市場



中国や一部日本向け 皮つき状態のカシューナッツ を出荷、急増中

カンボジア

生産量年間約100万トン原材料 品種 M23 大粒でおいしい

伝統品種 小ぶり、ベトナム産品と類似

ベトナム国内

ベトナム国内にて、約50万トン 生産、小ぶりの品種が多い 1USD/KG 国内渡し

アフリカ生産品

アフリカから約50万トンの輸入 品質悪いし、小ぶり品種 1.5USD/KG CIF HCM

大規模一次加工場



大規模二次加工場



完成品として、日本スーパー、 欧米大手量販店等へ出荷、昨今 の輸出増加製品



小ぶりサイズ半製品 W240 欧米ナッツ工場へ

W320 .W450 日本等ナッツ工場へ

年間200万トン加工輸出行うが、その 半分は密輸で賄われている。

日本への供給含め密輸品 が原材料となっている。

3. 世界のカシューナッツ生産量



4. パートナー カンボジアカシューナッツ協会 CAC について

組織

CAC



技術指導

- ・毎年5~7回ほど農家に対して技術指導研修を実施
- ・参加人数は100~150名





組織名: Cashew nut Association of

Cambodia

設立:2020年 **所在**:コンポントム州 ※2009年に設立されたCAT (Cashew nut Association of Kampong Thom) が、全国 拡大し、組織された

規模

対象州:10州

会員数:約2万世帯

農地規模:各省5,000ha/収穫規模約60万t

活動内容

農家への技術指導 カシュー加工技術の普及 (CAC以降) 輸出業者との調整 流通・ 加工

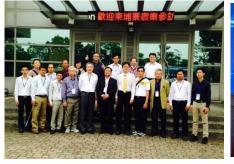
- ・コミュニティ用の倉庫を 確保し、カシューナッツ の付加価値向上を目指す。
- ・CACとして、国内カシュー業者の生産・加工規模拡大を図る。





市場展開

- ・海外バイヤーへの展開(台 湾、中国、日本等)
- ・2018年に中国の買取先と 20,000トンの契約 (CAT)
- ・CACよりTPJが日本支部事 務局認定される





5. 事業展開

1. カンボジア農業省 農産業局(DAI)とのMOU

プストハーベスト技術の担当局である農産業局DAIと、 カシューナッツ加工技術開発に関する調査協力に関する、 MOUを締結し、現地調査における全面的協力を得る。



カンボジアカシューナッツ協会(CAC) をDAIから紹介仲介してもらい、CACとの会合にもDAIも参加してもらえるようになった。CAC側も農業省の紹介ということで、きちんと対応してくれた。特に、CAC加工部門担当者である、ライホー女史との事業協力は、本事業において、とても有意義なものである。また地元の農協や村行政、地元で活躍するNGOとの連携も行ってもらえた。

3. JICA以外の協力機関との連携

JICA調査事業をきっかけに、

日本大使館の協力も得、地元の4農協へ草の根無償による倉庫贈呈や、

日本環境省、農水省からの支援も得れた

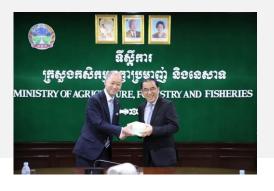












6. パイロット工場の設立



工場長兼パートナー エン ライホー工場長



6. パイロット工場の設立



現在100名のスキルワーカーを育成 近隣に住む女性の雇用創出



6. パイロット工場の設立



7. 日本での販売状況 OKスーパー大使表敬訪問



OKスーパー本間本部長と カンボジア大使による表敬訪問

7. 日本での販売状況 サミット グランプリ受賞



サミット第43回新商品人気コンクール感謝式

「世界ないに関
「地域をは、一方が一リックライスの表
「は、一方が一リックライスの表
「は、」ととで簡単、かつせ前手刺もとのうま
は、これ人にひったり供き込みこは人の表

スーパーサミット 2022年新製品コンクール 食品部門グランプリ

